セゾンマルチシリーズ　据付説明書

FDUJ(P)　45HKXD1～280HKXD1

PSB012D076

本機は制御箱に内蔵のファンコントローラのボリュームにより連続的に風量を調整することができます。使用ポイントが下記に示す風量限界内に入るよう調整をしてください。（ファンコントローラの操作要領は裏面にあります。）

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
リモコン及び電気工事の方法は、**電気配線工事説明書**（室内ユニット付属）を御覧ください。
総合工事仕様と室外ユニットの据付方法は、室外ユニット付属の説明書を御覧ください。

適用機種	インバータ マルチ	45, 56, 71, 90, 112, 140, 224, 280H

工事完了後、これだけは再チェック願います。

チェック項目	不良だと	チェック欄
室内ユニットの取付けはしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
吹出口、吸込口に障害物はありませんか。	冷えない	
ショートサーキットしませんか。	冷えない	
冷媒漏れはありませんか。	冷えない	
ドレン水はスムーズに流れますか。	水漏れ	
断熱は冷媒配管・ドレン配管共に確実にされていますか。	水漏れ	
誤配管はありませんか。	運転不能	

〈おねがい事項〉

○取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた（特にエアフィルタの清掃、運転操作のしかた、温度調節の方法）をご指導ください。
○長期間使用しない時は、電源スイッチを切るようにお客様にご指導ください。
電源スイッチを入れたままにしておきますと、クランクケースヒータに通電されエアコンを使用しなくても電力を消費することになります。

据付のまえに

○据付はこの据付説明書に従って正しく行なってください。
○工事計画にあっておりますか。

確認してください

- 機種・電源仕様
- 配管・配線・小物部品

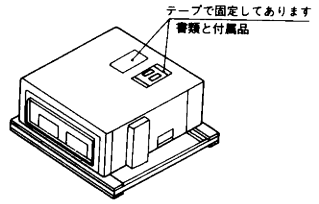
付属品

付属品

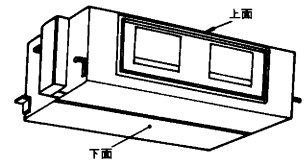
1	パイプカバー	1個	ガス側用
2	パイプカバー	1個	液側用
3	バンド	4個	
4	ホースクランプ	1個	ドレン配管用

注）リモコンは別売品でユニットには付属されません。
224H, 280Hには1～3は付属していません。
（ロー付仕様のため）

付属品収納場所(梱包時)



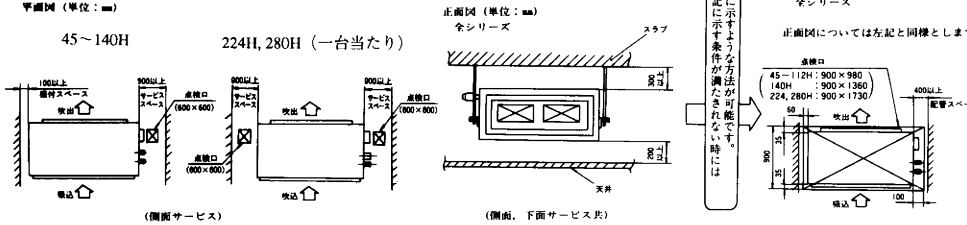
この説明書の貼付してある面が下面となります。



注）FDC112～280HKXの場合、224・280Hの室内機は接続不能ですので御注意ください。

据付場所の選定

（室内機）
据付＆サービススペース（ここに示す据付＆サービススペース、空気条件、風量限界は必らず守ってください。）



正面図については左記と同様とします。

○冷風または温風が十分行きわたる所。
据付高さが3mを越えると暖気が天井にこもりますのでサーキュレータの併設をご指導ください。
○室外への配管、配線のしやすい所。
○ドレン排水が完全にできる所。
○据付部の天井がユニット重量に耐えられるだけ強固である所。
○本エアコンはJIS露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、高湿度雰囲気（露点温度23℃以上）で運転すると水滴が落下するおそれがあります。このような場所への設置はしないでください。
○吸込口、吹出口に風の障害物のない所。
○火災報知器の誤動作しない所。
○ショートサーキットしない所。
○ドレン勾配のとれる天井裏高さ。
○油の飛沫や蒸気の多い所はさけてください。（例：調理場、機械工場）熱交換器の性能低下・腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
○高周波を発生する機械がある所は、さけてください。ノイズ発生によるコントローラの誤動作の原因となります。
○腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある場所はさけてください。熱交換器の腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
○冷媒ガスが漏れたとき、周囲の空気が限度濃度を越える恐れのある場合は窒息防止のため隣室との間の開口部やガス漏れ検知警報と連動する機械換気装置などの取付けが必要となりますのでご注意ください。
○エアコン本体とリモコンはテレビやラジオなどから1m以上離してください。

空気条件・風量限界

50Hz／60Hz

	風量m³/min 定格	風量m³/min 下限	風量m³/min 上限	室内ユニット吸込空気温度 冷房	室内ユニット吸込空気温度 暖房	室内ユニット周囲の空気温度
45H	14/16	11/13	15/17	上限26℃WB 外温35℃のとき 下限16℃WB 外温15℃のとき	上限27℃DB 外温20℃WB以下 下限10℃DB 外温-10℃WB以上	露点温度23℃以下
56H	14/16	11/13	16/17			
71H	20/24	15/18	25/26			
90H	20/24	15/18	25/26			
112H	27/32	20/24	24/35			
140H	34/40	26/30	43/44			
224H	51/60	38/45	65/66			
280H	68/80	51/60	87/88			

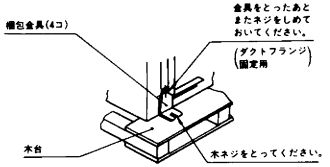
くわしくは弊社発行の技術資料を参照願います。

ユニットの搬入、据付

搬入

○搬入時はできるだけ据付場所の近くまで梱包のまま搬入してください。
○解梱して搬入する場合、ユニットを傷つけないよう搬入してください。

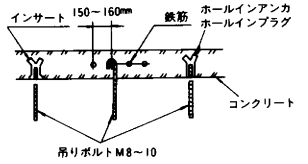
(梱包金具について)
梱包金具(4コ)は不要ですので捨ててください。



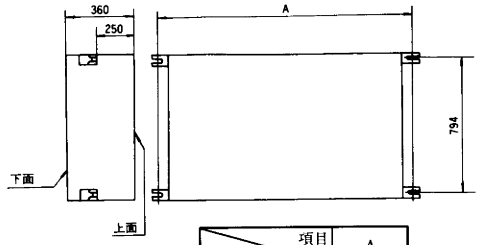
据付

〈吊りボルト固定方法〉

下図のいずれかの方法で吊りボルトを固定してください。



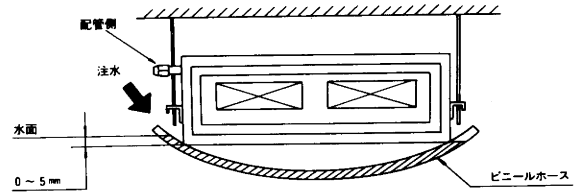
〈吊りボルト位置〉



機種＼項目	A
45～112H	890
140H	1270
224, 280H	1640

〈水平度の調整〉

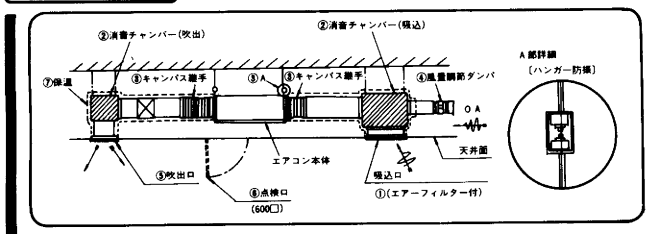
水準器を使用するか、下記の要領で水平度の調整を行なってください。



配管側をさがりぎみにしてください。

水平度がでていないとフロートスイッチの誤動作あるいは不作動の原因となります。

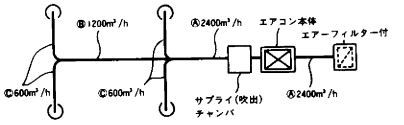
ダクト工事



①エアコン本体にはエアフィルタが付属されていません。
掃除の容易な吸込グリルに組込んでください。
②消音チャンバーは据付ける室内の許容される騒音値によって取付けてください。
特に低騒音とする必要がある場合は、さらに消音装置が必要です。(事務所、会議室などでは必ず取付けること)
③エアコン本体の振動が天井およびスラブに伝わらないようにダクトはキャンバス継手、エアコン本体は防振ゴムにより防振してください。
④ＯＡダクトの接続口には、据付後の風量調節ができるよう、風量調節ダンパを取付けてください。
⑤吹出口は室内全般に空気が流れるように位置、形状を選びさらに風量が調節出来る構造のものを使用してください。
⑥天井面に点検口を必ず設けてください。電装品、モータ、機能品のサービス、熱交洗浄のために必要です。
⑦ダクトの保温施工は必らず実施し、ダクトへの結露を防止してください。
保温材の厚さは65mm(JISA9501)です。

〈簡易的なダクト寸法の決め方〉

ダクトの単位長さ当りの摩擦抵抗を0.1mmAq/mとして、ダクトは一辺が250mmのものを使用する場合の方法を示す。
140H、60Hz定格風量の場合を例とします。



	風量	ダクト (mm×mm)
Ⓐ 部	2400m³/h (40m³/min)	250×560
Ⓑ 部	1200m³/h (20m³/min)	250×310
Ⓒ 部	600m³/h (10m³/min)	250×190

○ダクト抵抗の計算(簡便的に下表の如く計算する)

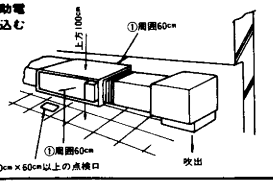
直 管 部	長さ1m当り0.1mmAqで計算する(0.1mmAq/m)
曲 り 部	曲り部1ケ当り直管に直して3～4mとする
吹 出 部	2.5mmAqで計算する
チ ャ ン バ	1個で5mmAqで計算する
吸込グリル(フィルター付)	1個で4mmAqで計算する

〈簡易ダクト寸法選定図〉

(0.1mmAq/m)

風量＼ダクトの形	角ダクト 寸法
m³/h(m³/min)	(mm×mm)
100	250 × 60
200	250 × 90
300	250 × 120
400	250 × 140
500	250 × 170
Ⓒ部 600(10)	250 × 190
800	250 × 230
1,000	250 × 270
Ⓑ部 1,200(20)	250 × 310
1,400	250 × 350
1,600	250 × 390
1,800(30)	250 × 430
2,000	250 × 470
Ⓐ部 2,500	250 × 560
3,000(50)	250 × 650
3,500	250 × 740
4,000	250 × 830
4,500	250 × 920
5,000	250 × 1000
5,500	250 × 1090
6,000(100)	250 × 1180

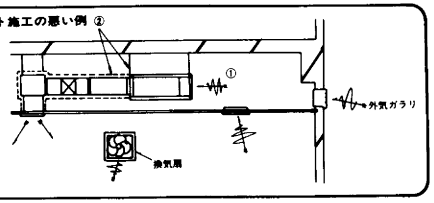
〔重要〕オプション補助電気ヒータを組込むときの注意



①可燃性の部分から周囲60cm、上方にあっては100cm(1メートル)以上の距離を保つこと。
②電気ヒータが有効に点検できる位置に1辺の長さが60cm以上の大きさの点検口を設けること。

〔重要〕オプション補助電気ヒータを組込むときはパッケージエアコンを取付ける前に「火を使用する設備等の設置届」を作成し、所轄の消防署等に届出をおこない、審査又は検査を受けること。
届出書は左記①②の他に防火対象物の案内図、設置する階の平面図、立面図、構造図、室内仕様表、付属設備図などの図面などが必要です。

ダクト施工の悪い例 ②



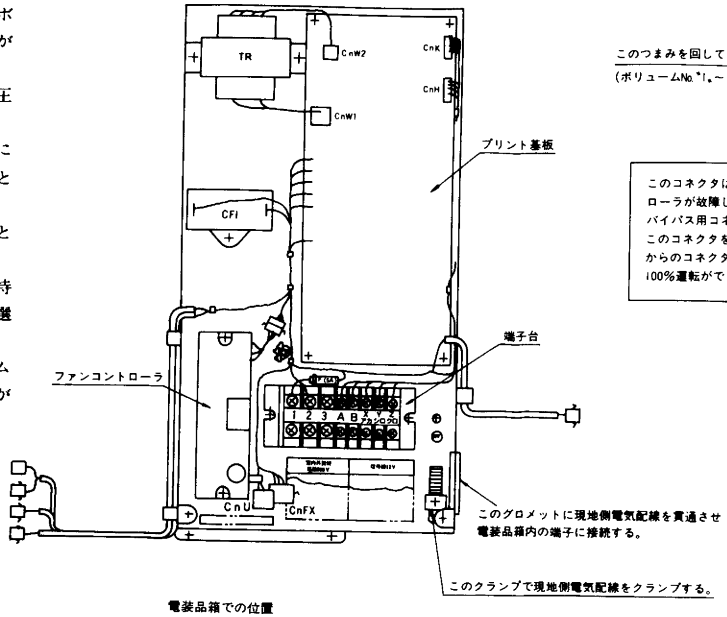
①吸込側ダクトを使用せず、天井内を吸込ダクトにすると換気扇の能力や外気ガラリに吹きつける風の強さ、天候(雨の日など)等により天井内が高湿度となります。
(イ) ユニットの外板に結露し天井に滴下するおそれがあります。
ユニットは上表の空気条件及び風量限界内で使用してください。
コンクリート建築などで新築の場合も天井内ダクトにしなくても湿度が高くなることがあります。この場合はユニット全体をグラスウール(25mm)で保温してください。(金あみなどでグラスウールをおさえてください。)
(ロ) ユニットの運転限界(例:外温35℃DBのとき吸込空気温度24℃WB)をこえる場合も考えられ、圧縮機のオーバーロードなどのトラブルの原因となります。
(ハ) 換気扇の能力、外気ガラリに吹きつける風の強さによってユニットの送風量が多くなり使用制限をこえてしまうため熱交換器のドレンがドレンパンに流れず、外部に流れだすこともあり、(天井にドレンが滴下する)水漏れの原因となります。
②ユニットとダクト、ユニットとスラブの防振をしないとダクトに振動が伝わり、天井と吹出口の間で振動音が出たり、スラブにユニットの振動が伝わることがあります。必ず防振してください。

ダクト工事（つづき）

ファンコントローラ操作要領

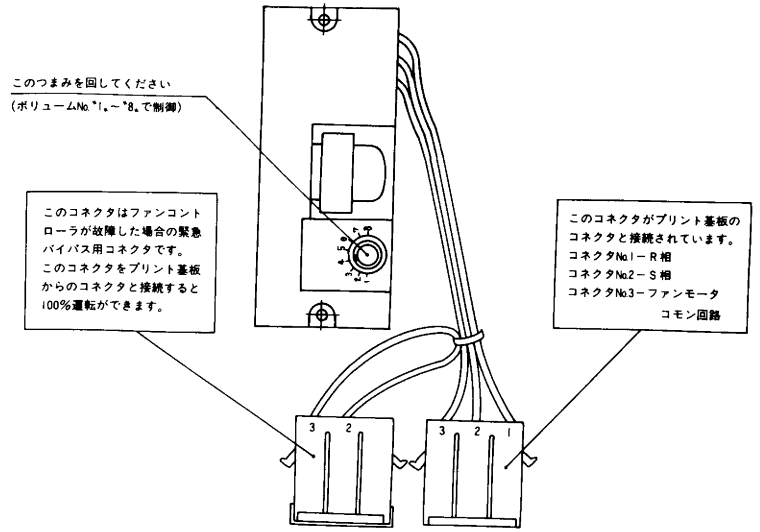
本機は電装品箱に内蔵のファンコントローラのボリュームにより、連続的に風量を調整することができます。
ダクト側でのダンパ等による風量調整（機外静圧調整）は必要ありません。
使用ポイントが運転可能風量範囲内となるように設定してください。（おもての風量限界を参考としてください。）
右図にファンコントローラの電装品箱内の位置と操作のしかたを示します。

○事前に別途技術資料にて発行されている送風機特性にてファンコントローラのボリュームNOを選定してください。
電気工事終了後の試運転にて選定したボリュームNOを右図の要領に従って合わせて、所要風量がでているかご確認ください。



電装品箱での位置

（140Hの電装品箱を代表例としています。
ファンコントローラの位置は他の機種も同様です。）



ファンコントローラの操作のしかた

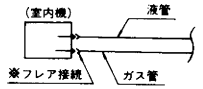
注）ファンコントローラを操作する際は、充電部に触れる恐れがあるので必らず電源を切ってください。

冷媒配管

○配管は下記材質のものをご使用ください。
〈材質〉 リン脱酸銅継目無管1種(C1220T, JIS H3300)
○ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
●ガス側配管は、暖房時最高温度が120℃になりますので、それに耐える断熱材をご使用ください。
○冷媒は、室外ユニットに充てんされています。現地配管分のみ（大容量マルチの場合は室内機台数による追加も必要となります）を充てんしてください。
○配管の曲げはできるだけ大きな半径で行ってください。曲げなおしを何回も行わないでください。
○ユニットの配管端部のフレアナットは必ず2丁スパナで取り外し配管接続後は、2丁スパナでしっかりと締め付けてください。
○フレアナット接続時は、フレアねじ部に冷凍機油を塗り、最初は3回～4回手回しでねじ込んでください。
○配管の継手部は、ガス漏れチェック後付属の継手用断熱材をかぶせ、両端を付属のクランプ材でしっかりと締め付けてください。
○本エアコンはJIS露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、高湿度雰囲気(露点温度23℃以上)で運転すると水滴が落下するおそれがあります。このような場合エアコン本体の全て及び配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。
○配管はねじったり、つぶしたりしないでください。
○配管内はゴミ・切粉・水分が混入しないよう施工してください。

配　管

冷媒配管は下図のように接続してください。

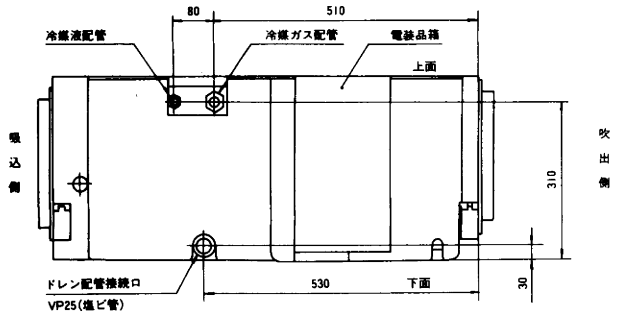


※224，280Hはロー付です。

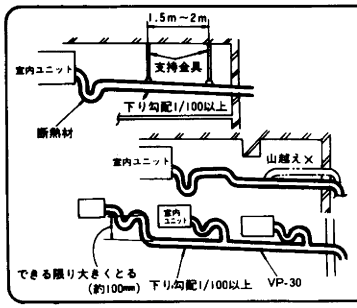
○室内機配管はサービスパネルを取りはずし可能とするため、配管方向がどのような方向でも必ずユニットから400mm以上のストレート部分を設けてください。

高静圧ダクト形 5-4/8

配管位置

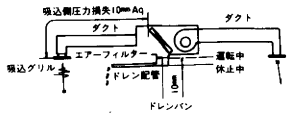


ドレン配管



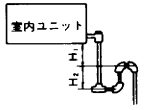
○ドレン配管はドリ勾配 (1/50～1/100) とし途中山越えを作らないようにしてください。
○ドレン配管を接続する場合にユニット側の配管に力を加えないように注意して行いできる限りユニット近傍で配管を固定してください。
○ドレン管は市販の硬質塩ビパイプ一般管ＶＰ－25を使用してください。
○複数台のドレン配管の場合左図のように、本体ドレン出口より約100㎜下に集合配管がくるようにしてください。また集合管はＶＰ－30以上を使用してください。
○室内にある硬質塩ビパイプは配管同様必ず保温してください。
○ドレン配管の出口は、臭気の発生する恐れのない場所に施工してください。
○ドレン配管はイオウ系ガスの発生するド水溝に直接入れないでください。

ダクトを接続し、送風機を運転するとユニット内部は大気圧に対して負圧となります。



例：上図の様に吸込グリル、エアーフィルター、ダクトの吸込側の圧力損失が10㎜Aqあるとすれば運転中のドレン水位は停止中に比べ10㎜上昇します。

〈トラップの施工〉
エアーフィルターの目づまりにより圧力損失は変動するため設計上、ドレンパンには水がたまらないようにトラップを(配管工事のとき)１ヶ所設けてください。
トラップは掃除が可能な構造とすることが必要です。下図に示すように丁形継手を使用してください。またトラップの高さも下図の様な寸法としてください。
トラップはユニットの近くに設けてください。



●ドレン配管の途中に１箇所、左図のようなトラップを設けてください。

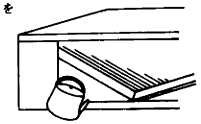
H_1 ＝100㎜又は送風機の静圧

$H_2 = \frac{1}{2} H_1$ 又は50～100㎜

排水テスト

ドレン配管工事が完了したら、水を流して確認してください。

○サイドパネルをはずし、ドレンパンに1000ccの水を徐々に入れ、スムースに排水することを確認してください。
又、水漏れのないことをご確認ください。



電気工事及び試運転

ユニットに同梱の**電気配線工事説明書**を御覧ください。

セゾンマルチシリーズ　電気配線工事説明書

FDUJ(P)　45HKXD1～280HKXD1

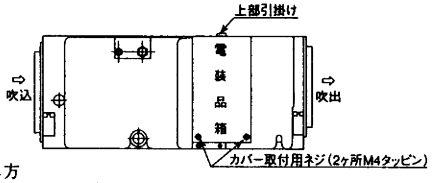
PSB012D515

安全上の注意事項については、ユニット付属の据付説明書に記載してありますので、必ずご参照いただきますようお願いします。

電気配線工事は電力会社の認定工事店で行ってください。

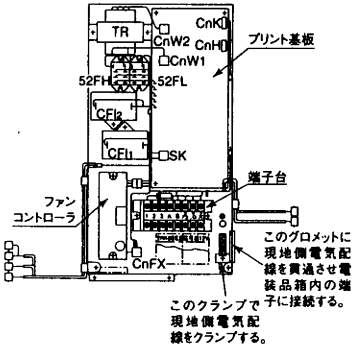
① 電気配線接続

(1) 電装品箱位置



(2) 電装品箱カバーの取外し方
カバー下部のカバー取付用ネジ2本を外して上部の引掛けを外すとカバーは外れます。

(3) 電装品箱内の端子台の配列と電気配線接続（280Hを代表例とします）



端子No.①②	室内機電源線
端子No.ⒶⒷ	室内・外信号線
端子No.ⓍⓎⓏ	リモコン線

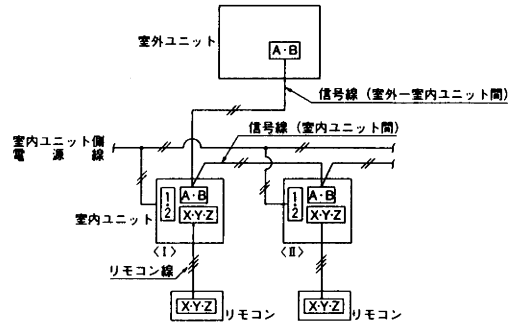
端子台の端子ネジは「脱落防止機構付」です。（ネジと座金ははずれません。）

電　源　配　線

●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、
1) 電線は銅線以外のものを使用しないでください。
2) 電源は、室外ユニット・室内ユニットの夫々別電源（標準仕様）
3) 電気ヒータレス機と電気ヒータ付機を記載してあります。尚、各仕様値の計算は、組合せ可能最大ケースにて計算してあります。組合せ機種・台数等にて、値は、若干異なりますが（低下傾向）微少のため、同値としてください。
注）別売の電気ヒータを組込む場合は、電源仕様、配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。
4) 同一系統内の室内ユニット電源は、必ず全て同時ON・同時OFFになる様にしてください。
5) 信号線と電源線の接続を間違えますとすべての基板が焼損してしまいますのでご注意ください。

配線系統図

〔室外・室内ユニット接続要領〕



記事1．本配線仕様は、
1）電源は、室外ユニット・室内ユニットの夫々別電源
2）電気ヒータ（別売品）含まず
にて記載してあります。
注）別売の電気ヒータを組込む場合は、電源仕様、配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。

2．電源仕様

	室内ユニット用		
配線用しゃ断器定格電流（A）	室内ユニット合計電流（A）	10A未満	20
		10A以上15A未満	30
		15A以上22A未満	40
		22A以上27A未満	50
漏電しゃ断器定格電流（A）		10A未満	20,30mA.0.1sec以下
		10A以上15A未満	30,30mA.0.1sec以下
		15A以上22A未満	40,30mA.0.1sec以下
		22A以上27A未満	50,100mA.0.1sec以下

室内ユニット接続線は5.5mm²まで可能です。8mm²以上は専用プルボックスを使用し室内ユニットへ分岐してください。

3．配線仕様

電源配線		室内ユニット間電源配線	信号線	
室内側		系統間	室外~室内(1)	室内(1)~(2)~
		mm²×本数	mm²×本数	
室内ユニット合計電流(A)	10A未満	2×2本（こう長23m）	0.75/2.0×2本	0.75/2.0×2本
	10A以上15A未満	3.5×2本（こう長23m）		
	15A以上22A未満	5×2本（こう長23m）		
	22A以上27A未満	8×2本（こう長23m）		

注）内線規定に従い、配線こう長より配線太さを見直してください。

冷暖フリーマルチ（224H, 280H, 560H）の場合

分流コントローラの配線

●本ユニットを冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ（別売品）の据付説明書をご覧ください。

② アドレス設定

（1）自動アドレス設定
（2）手動アドレス設定
（3）リモコンアドレス設定

上記3項目については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。
なお、（3）リモコンアドレス設定については、設定可能な機種と不可能な機種がありますので室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

③ リモコン取付と配線

リモコン　リモコンは別売です。

リモコンの据付

お願い　次の位置は避けてください。

1）直射日光の当る場所
2）発熱器具の近く
3）湿気の多い所・水の掛る所
4）取付面に凸凹がある所

リモコンコードを延長する場合の注意 ▶ 最大総延長600m

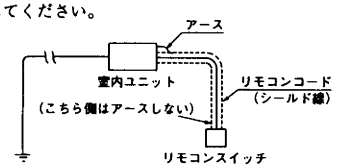
コードは必ずシールド線を使用してください。

●全形式：0.3mm²×3心（MVVS）

注（1）延長距離が100mを越える場合は下記のサイズに変更してください。

100～200m以内……0.5mm²×3心
300m以内……0.75mm²×3心
400m以内……1.25mm²×3心
600m以内……2.0mm²×3心

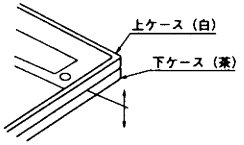
●シールド線は必ず片側のみをアースしてください。



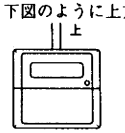
取付要領

露出取付

①リモコンケースをはずしてください。
●側面上方の上ケース（白）と下ケース（茶）に爪を掛け溝を広げはずします。



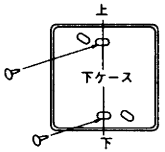
②リモコンコードの取出し方向は、下図のように上方向のみ可能です。



（コード取出し方向）

●リモコン下ケース側の上方薄肉部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。

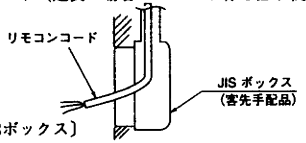
③リモコン下ケースを付属の木ネジ2本で壁に取付けます。



④リモコンコードを端子台に接続してください。室内ユニットとリモコンの端子番号を合わせて接続してください。端子台には極性があるので間違えると運転できません。
端子：Ⓧ赤線、Ⓨ白線、Ⓩ黒線
⑤室内機の機種に応じて機能の設定をしてください。
機能の設定 の項をご覧ください。
⑥上ケースを元通り、下ケースにはめ込みます。
⑦リモコンコードをコードクランプを使用して壁等に固定します。

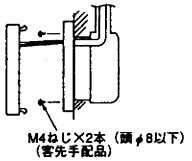
埋込取付

①JISボックスとリモコンコード（延長の場合はシールド線を必ず使用）をあらかじめ埋込んでおきます。

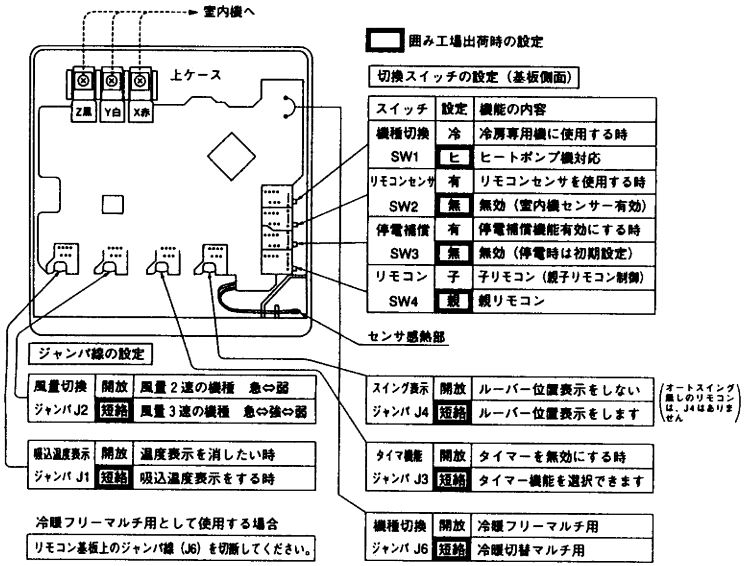


〔使用可能JISボックス〕
● JIS C 8336　1個用スイッチボックス（カバーなし）
2個用スイッチボックス（カバーなし）

②リモコンの上ケースを外してください。
③下ケースをM4ねじ2本（頭φ8以下：客先手配品）でJISボックスに取付けてください。
④リモコンコードをリモコンに接続します。
注）露出取付け の項をご覧ください。
⑤室内機の機種に応じて機能スイッチの設定をしてください。
機能の設定 をご覧ください。
⑥上ケースを元通り下ケースにはめ込み取付完了です。



機能の設定



■ 囲み工場出荷時の設定

切換スイッチの設定（基板側面）

スイッチ	設定	機能の内容
機種切換	冷	冷房専用機に使用する時
SW1	ヒ	ヒートポンプ機対応
リモコンセンサ	有	リモコンセンサを使用する時
SW2	無	無効（室内機センサー有効）
停電補償	有	停電補償機能有効にする時
SW3	無	無効（停電時は初期設定）
リモコン	子	子リモコン（親子リモコン制御）
SW4	親	親リモコン

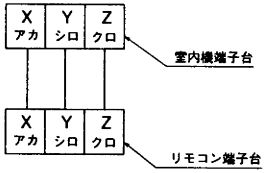
風量切換 ジャンパ J2	開放	風量２速の機種　急⇔弱
	短絡	風量３速の機種　急⇔強⇔弱
吸込温度表示 ジャンパ J1	開放	温度表示を消したい時
	短絡	吸込温度表示をする時
スイング表示 ジャンパ J4	開放	ルーバー位置表示をしない
	短絡	ルーバー位置表示をします
タイマ機能 ジャンパ J3	開放	タイマーを無効にする時
	短絡	タイマー機能を選択できます
機種切換 ジャンパ J6	開放	冷暖フリーマルチ用
	短絡	冷暖切替マルチ用

（オートスイング無しのリモコンは、J4はありません）

冷暖フリーマルチ用として使用する場合
リモコン基板上のジャンパ線（J6）を切断してください。

リモコンと室内の配線

●リモコン配線は極性があります。
必ず同一端子台No.同士接続してください。

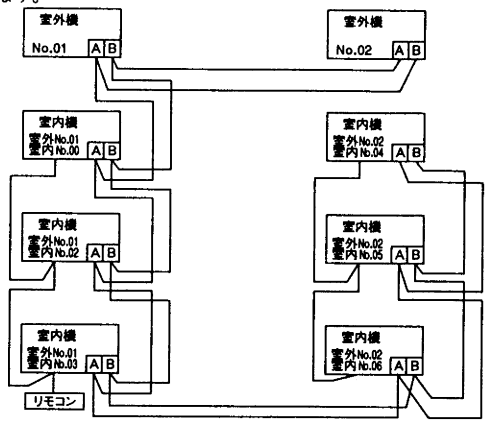


リモコン複数台制御

配線要領

●グループ制御用に各室内機間に渡り配線をします。（3本）
■室内ユニットリモコン用端子台Ｘ Ｙ Ｚに、接続してください。なお極性がありますので、同じ端子No.の所へ接続してください。
■配線は0.5mm²以上を使用してください。（配線の引廻しに耐えるもの）
■渡り線、リモートコントローラ配線の総延長は600m以内としてください。
●室内・室外No.を手動アドレス設定にてセットしてください。
■室外機の室外No.設定も必要です。忘れずに設定してください。

●下図の様に室外機が複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。
●1つのリモートコントローラで複数台のユニット（最大16台）をグループ制御できます。

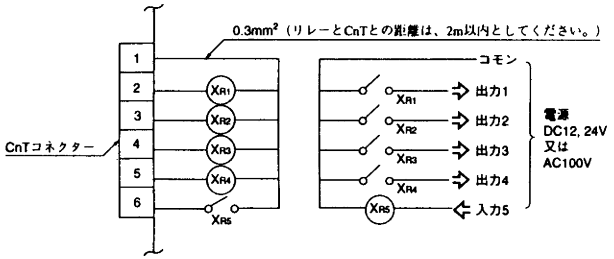

室外機 No.01 A B
室外機 No.02 A B
室内機 室外No.01 室内No.00 A B
室内機 室外No.02 室内No.04 A B
室内機 室外No.01 室内No.02 A B
室内機 室外No.02 室内No.05 A B
室内機 室外No.01 室内No.03 A B
室内機 室外No.02 室内No.06 A B
リモコン

④ 制御の切換

室内機の制御内容を、下記方法にて切換可能です。

	制御切換方法	制御切換内容
室内機	室内基板〔SW-5〕のNo.1をON	遠方発停入力（CNT-No.6）切換 出荷時…レベル入力（反転できない） ↓ 切　換…パルス入力（反転）
	室内基板〔SW-5〕のNo.2をON	暖房時設定温度＋3℃
	室内基板〔SW-5〕のNo.3をON	ドレンモータ運転
	室内基板〔J-2〕切断	オートスイング4位置制御ナシ（フリー位置制御）
	室内基板SW-6のNo.1～4のON・OFFを切換える。	機種 22H 28H 36H 45H 56H 71H 80H 90H 112H 140H 160H 224H 280H 1 0 1 0 1 0 1 0 0 1 0 1 0 1 2 0 0 1 1 0 0 1 1 1 0 0 1 1 3 0 0 0 0 1 1 1 1 1 0 0 0 0 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 0はOFF、1はON
	室内基板〔J-3〕切断	暖房サーモOFF時に室内ファンが停止する。
	室内基板〔J-4〕切断	フィルタサイン無効（検知しない）
	室内基板〔J-5〕切断	運転許可禁止制御
	室内基板SW-9のNo.1,2のON・OFFを切り換える（4方向吹出し、4方向吹出しコンパクト）	オートリフトパネルの昇降長さの設定 50Hz地区 SW9-1 SW9-2 / 60Hz地区 SW9-1 SW9-2 1.3m ON OFF OFF OFF 1.6m OFF ON ON OFF 2m ON ON OFF ON
	室内基板〔J-1〕切断	ルーバ角度切換

⑤ 室内基板CnTコネクタの機能



●$X_{R1\sim4}$はDC12Vリレー（オムロン製LY2F相当品）
●X_{R5}は、DC12, 24V又はAC100Vリレー（オムロン製MY2F相当品）
●CnTコネクター（現地側）メーカー、形式

コネクター	モレックス	5264-06
端　　子	モレックス	5263T

●機　能

出力1	エアコン運転出力（エアコンON時X_{R1}＝ON）	
出力2	暖房出力	
出力3	サーモON出力（サーモON時X_{R3}＝ON）	
出力4	エアコン点検出力（エアコン点検時X_{R4}＝ON）	
出力5	出荷時	X_{R5} OFF⇒ON　エアコンON
		X_{R5} ON⇒OFF　エアコンOFF
	現地切換（SW5のNo.1をON）	X_{R5} OFF⇒ONのパルス信号によりON/OFF反転

●冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ（別売品）の据付説明書をご覧ください。
●遠方発停・監視キットを別売品で準備しておりますのでご利用ください。

⑥ 試　運　転

試運転については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

⑦ 故障診断方法

故障診断方法については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

⑧ 工事完了後のチェック項目

- ☐ 電源電圧は本体表示と同じですか。
- ☐ 室外機側でアース工事はされていますか。
- ☐ 電源線の太さは指定の配線と同じですか。
- ☐ 電源線、信号線、リモコン線の接続位置は正しいですか。